

校内実習

高等部1年生が、6月と10月に2週間ずつ行います



「校内実習」とは

- ▶ 高等部に入学した最初の段階として、校内を作業場に見立て、企業等からお預かりした資材をもとに作業を行います。
- ▶ 「働く」という基本的な態度や姿勢を身につけると同時に、指示された作業を行いながら自分の強みとなる部分や苦手な部分を知ることが目的としています。作業スキルだけでなく、報告や相談などのコミュニケーションの部分も、普段と違う環境の中で意識して取り組みます。

対象者 高等部第1学年

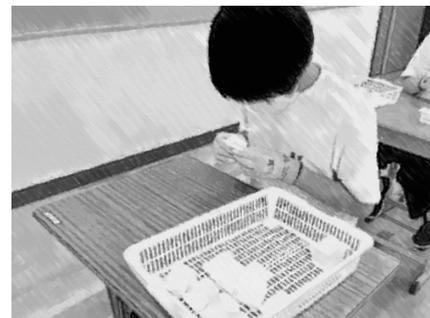
期間・回数 6月と10月にそれぞれ2週間

実際の作業の様子

校内実習で取り組む仕事内容は、企業様から資材をお預かりし、組立てや梱包などの仕事を行っております。

【作業内容】

- ・段ボール資材の組み立て、梱包
- ・検尿キットの組み立て、梱包
- ・チラシ折りやシール貼り など



体験実習を実施する大まかな流れ

実施前

作業学習

- ・校内実習とは別に、日頃から「作業学習」として、働くことを意識した学習に週

事前学習

- ・生徒各自が、学校での学習を踏まえ、校内実習に取り組む目標の設定をします。

実施中・実習後

実習開始

- ・教室を会社に見立て、2週間実習を行います。
- ・教師は指導員として、生徒への作業指示や作業方法の説明、見守りをします。また、作業終了の報告などの基本的なコミュニケーションスキルもいつも以上に意識して関わります。

事後指導

- ・生徒自身の自己評価と指導員（教員）の評価を基に、達成できたことや今後の課題について振り返り、学校での学習活動に生かします。

学習活動

- ・学校での学習活動の中で課題に取り組み、改善を図ります。
- ・振り返りをするすることで、自己の特性や強みを見つけに行きます

→ PDCAのサイクルで、生徒自身の課題改善と成長につなげていきます

【その他、実施に関して】

- ・本学習に伴う報酬は必要ありません。
- ・実施期間中の不慮の事故に対しては「日本スポーツ振興センター」の災害共済給付により対応を行います。

<問い合わせ先>

茨城県立協和特別支援学校

〒309-1121 茨城県筑西市谷永島495-1

Tel 0296-57-4341

Fax 0296-57-9102

メール: kyowa-shinro@kyowa-sn.ibk.ed.jp

担当者: 進路指導主事 藤田 武士

高等部主事 安藤 あかね